

第100回 教育研究評議会 議事要録

日時 令和2年7月29日(水) 15:00~16:55
場所 Microsoft Teamsの「教育研究評議会」チーム(Web会議)
出席者 櫻井学長、辻田理事(総務・財務・企画担当)、岩崎理事(教育担当)、本家理事(研究・評価・医療担当)、受田理事(地域・国際・広報・IR担当)、小山副理事、藤本副理事、福間副学長、小島副学長、飯國副学長、石塚副学長、奥田学長特別補佐、中川人文社会科学部長、岡谷教育学部長、津江理工学部長、菅沼医学部長、枝重農林海洋科学部長、大石地域協働学部長、森木大学院看護学専攻長、柳林大学院教職実践高度化専攻長、久保田大学院黒潮圏総合科学専攻長、藤田人文社会科学系長、北岡医療学系長、渡邊総合科学系長、高橋共通教育主管、塩崎センター連絡調整会議議長、徳山海洋コア総合研究センター長、執印医学部附属病院長、山内評議員、原崎評議員、松井評議員、山口評議員、田中評議員
欠席者 藤原副理事、遠藤副学長、松本自然科学系長、内田評議員
陪席 関監事、大崎監事

[配付資料]

- 資料 1-1 高知大学「大学改革実施検討本部」(仮称)の設置について(案)
資料 1-2 “高知大学グランドデザイン2030”(仮称)の策定に向けて

議事に先立ち、第98回及び第99回教育研究評議会議事要録(案)の確認が行われ、異議なく了承された。

[議題]

1. 高知大学「大学改革実施検討本部」(仮称)の設置について

学長から、資料1-1、1-2に基づき、高知大学「大学改革実施検討本部」(仮称)の設置について説明が行われた後、辻田理事から設置の趣旨及び目的や今後のスケジュールについて、続けて各担当理事から所掌する検討項目について詳細な説明が行われ、審議の結果、了承された。

評議員より、「大学改革実施検討本部」で検討を行うにあたり、部局長にも意見を聞く機会を設けてほしいとの意見があった。

評議員より、教員数が減る中、新たに教員を採用しようとしても現状のカリキュラムに制約を受けて公募条件の幅が狭まっている。世界的視野を持つ人材の育成を目指すのであれば、学部再編等によるカリキュラムの見直しの議論も必要ではないかとの意見があった。

評議員より、英語による教育プログラムの開発に数値目標を掲げて取り組むこととされているが、外国語で効果的な授業をするため、主に若手教員への研修体制等の整備も検討すべきとの意見があった。

2. その他

- ・国立大学法人高知大学教育研究評議会規則第4条第3項に規定する教育研究評議会議長の代理として、学長から辻田理事が指名された。
- ・事務局長から、教育学部附属学校園の過去の超過勤務手当の未払いについて報告が行われた。評議員より、労働基準監督署の勧告・指導を受けたことについて、大学として責任の所在を明確にすべきではないか、また、令和元年人事院勧告を遡及適用しなかったことについて、将来的に補う措置を検討すべきではないかとの意見が、評議員の所属する教授会であった旨の報告があった。

- 学長から、新型コロナウイルスに対する本学の対応状況について報告が行われた。
- 受田理事から、中心市街地における地域貢献の推進に関する検討状況について報告が行われた。
- 学長から、高知大学への爆破等予告への対応について報告が行われた。評議員より、爆破等予告に対する本学の一連の対応について、詳細な報告が欲しいとの意見があり、学長から、近日中に取りまとめて報告予定であるとの説明があった。

以 上